

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第3グループ(白山・麻生)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	1 白山こども文化センター ①年間延べ利用者数	H27 31,680人	H28 33,223人	②年間延べ利用団体数	H27 1,334団体	H28 1,351団体
	2 真福寺小学校わくわくプラザ ①登録者数	190人	185人	②年間延べ利用者数	10,883人	11,971人
収支実績	1 麻生こども文化センター ①年間延べ利用者数	20,958人	22,539人	②年間延べ利用団体数	201団体	195団体
	2 麻生小学校わくわくプラザ ①登録者数	413人	414人	②年間延べ利用者数	16,126人	17,653人
収支実績	単位:円					
	1 収入 指定管理料	80,238,253				
	2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計	60,033,378 4,251,590 4,151,748 4,394,156 72,830,872				
サービス向上の取組	3 差引 7,407,381					
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全な育成が図られているか。			
(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書・事業計画書に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。</li> <li>・運営法人が管理運営する市内のこども文化センターの合同行事として「ゴーゴー☆かわさきキッズ～マンカラ大会・こどもサミット」、区内8館の合同行事として「キッズフェスティバル2016～魔法学校・新たな旅立ち～」等を開催した。</li> <li>・また、白山こども文化センターにおいては、27年度に運営法人合同事業のイベントに協力をいただき好評を得た、アフリカンミュージックの演奏団体に、館独自に新規で協力依頼を仰ぎ、館の実施する交流イベントに参加していただき、今後も協力していただける関係を築くなど、積極的に事業を充実させる実績が見られる。</li> <li>・さらに、麻生こども文化センターにおいても、子ども運営会議において企画した地域清掃にハロウィンの要素を加え、「仮想DEおそうじ」事業を行う等、地域との関わりを重視した事業を展開している。</li> <li>・こうした取組を通じて、グループ内のこども文化センターの利用者数は、前年度から、約3,100人増加した。</li> </ul>				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズについては、館に設置した意見箱の活用により、意見を集め、運営改善に努める他、子ども運営会議や、アンケート等により、利用者の意見を吸い上げるための仕組みが整っている。</li> <li>特別な配慮を要する児童への対応については、市で実施する障害児対応研修に積極的に参加する他、麻生こども文化センターでは、巡回相談員を講師に招き、独自に研修を行った。また、麻生こども文化センターにおいては不登校になっている利用児童に対し相談等のケアを行い、当該児童の学校とつながり、児童の様子、今後の対応について連携している。</li> <li>学校及び行政機関との連携については、特に、白山こども文化センターにおいて、「新ゆりグリーンタウン」というコンパクトなマンション街の中で、諸施設が近隣に密集している特性を活かし、近隣の保育園、地域住民、自治会との合同事業を実施し連携を強化するなど、地域に根差した施設を目指した活動を行っている。</li> <li>広報については、毎月のたよりを発行し、関係諸機関に配布するなど利用の促進を図った他、ホームページを作成し、利用案内や活動を周知している。</li> <li>運営協議会については、白山こども文化センターにおいて年4回、麻生こども文化センターでは年5回開催され、こども文化センターまつりなどの規模の大きな行事等について話し合いが行われた。</li> <li>わくわくプラザ保護者懇談会では、保護者からの意見や要望を聞き取り、わくわくプラザの活動風景を動画にして保護者に見せる等、普段の子どもの様子を保護者に知ってもらうための工夫を行っている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされているとともに、特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的かつ多様な研修が行われていた。</li> <li>また、研修によって得られた知識は、スタッフミーティングや、館長等、研修に出席した職員が、各館において行う研修を通じて職場全体で共有されている。</li> <li>個人情報等の取扱については、法人において定めている個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。</li> <li>また個人情報の漏えいの事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設、設備等の保守管理については、日常の清掃に加え、法人作成の安全点検マニュアルに沿って、各項目についての開館・開室時の点検を日常化している。白山こども文化センターにおいては、施設が建物の2階部分にあるが、雨の日などに利用者が転倒等しないよう、階段のタイルを滑り止めタイルに交換するなど、利用者の立場に立った修繕を行った。</li> <li>利用者の安全確保については、全職員の普通救命講習の受講、AEDの点検、わくわくプラザにおける登録時のアンケート提出によるアレルギー情報の把握など、種々の安全管理対策を行っている。</li> <li>防犯対策については、運営法人で作成した「不審者対応マニュアル」に基づき、日頃の予防、非常時の対応に努めた他、麻生こども文化センターでは、独自に不審者対応研修を行い、防犯意識の向上に努めた。</li> <li>災害時の対応については、各こども文化センター・わくわくプラザ毎の防災マニュアルを作成し、非常食などの備蓄も行き、非常時に備えている。白山・麻生こども文化センターでは、合築施設の老人いこいの家との合同避難訓練を行い、白山こども文化センターにおいて、近隣の自治会の避難訓練に参加した。</li> </ul>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事などに加え、各館独自の事業も行い、豊富な行事を行った。

白山こども文化センターにおいては、マンション街の中に立地する特性を活かし、多くの近隣施設や、地域住民を巻き込んだ事業実施を行おうとする姿勢が高く評価できる。

また、麻生こども文化センターにおいても、不登校児等、多様な利用者にも適切に対応した実績が見られ、一人ひとりにきめ細やかな対応をしている点が高く評価できる。

さらに、研修や、安全管理など各種の項目について、仕様や法人において定められた基準を遵守し、体系立てられた施設運営を実現している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、職員それぞれが意欲をもって運営改善に努めることで、さらに施設が活性化し、利用者にとって居心地の良い場にしていくことを期待する。

また、今後重要となる中高生の居場所としての事業の充実に努め、本グループのこども文化センターが、白山、麻生ともに老人いこいの家との合築施設である特性を活かし、多世代を巻き込んだ地域拠点としての機能を一層充実させていくことを期待する。